



那須塩原市にあるもう一つの博物館

田園空間博物館だより なすの大地

第30号

2017年8月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

1 「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・接骨木^{にわとこ}地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たて、「屋根のない博物館」として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

2 サテライトについて

サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って、散策を楽しむことができます。数あるサテライトからいくつか紹介させていただきたいと思います。

なお、詳しい場所については各地区公民館で配布しているルートマップをご覧ください。

○愛宕神社



火伏せの神をまつる神社で、1901年に創建されました。鉄道の開通により自動車から出る火の粉でたびたび火災が発生したことから、建てられました。

（中央地区・あたご町）

○那須開墾社第二農場跡



那須開墾社は、印南丈作・矢板武らが創設した那須野が原最大の農場です。当初一區町に設けられましたが、那須疏水の通水とともにこの地に移されました。

（西地区・三区町）

○ポップ通り



西那須野と黒羽を結んでいた東野鉄道（大正7～昭和43）の路線跡を歩行者と自転車の専用道路に整備したものです。（大山地区・新南、石林）

○金刀比羅神社



二つ室公民館脇にある神社で、那須開墾社の入植者によって建立され、地元では五穀豊穰の神として信仰を集めています。当初は、一區町にありました。

（南地区・二つ室）

○西郷神社



西郷^{つぐみち}従道（西郷隆盛の実弟）を祀った神社で、那須塩原市と大田原市との境にあります。従道は明治期にこの辺り一帯に西郷農場を創設しました。1903年に農場の移住民により建立されました。（南地区・一區町 大田原市境）

3 フットパス（巡回ルート）について

例：◎那須開墾社ゆかりのルート（南地区コミュニティ）

南地区コミュニティセンター → 縦道 → 蚕金神社^{こがねじんじゃ} → 観象台（南点） → 渡辺勇吉とヤスの碑
→ 旧日光北街道わきの道標 → 親王台と那須開墾社第一農場跡 → なんじゃもんじゃ → 西郷神社
→ 常盤が丘^{とぎわおか}と杏の里^{ことひら} → 金刀比羅神社^{じんじゃ} → 長延寺^{ちようえんじ} → ホタルの里 → 諏訪神社^{すわじんじゃ} → 二区町の馬頭観音

4 「那須野が原西部田園空間博物館総合案内所」について

那須野が原博物館と建物を共用しています。博物館のインフォメーション、サテライトの写真展示、ビデオ放映、またタッチパネルのモニターによる案内等を行っています。※タッチパネル利用の際は、博物館までお申し出ください。



5 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会について

西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木^{にわとこ}地区（横接コミュニティ）と関係団体を主なメンバーとし、那須野が原西部田園空間博物館の管理・運営や様々な普及活動を行っています。

《平成29年度 活動計画》

5月25日	総会開催	
6月～9月	サテライト清掃活動	
8月9日～16日	サテライト写真展 （那須野が原公園展示ホール）	※②～③については 下記の参加者募集の 記事をご覧ください。
8月4日	会報「なすの大地」第30号発行	
9月7日	サテライト見学会 ②	
9月23日～29日	小学生サテライト絵画展（県庁展望ロビー）①	
10月14日～15日	小学生サテライト絵画展（西那須野産業文化祭会場）①	
11月11日～12日	なすしおばらまなび博覧会会場にてPR活動（宇都宮共和大学那須キャンパス）①	
11月19日	第14回那須野が原ウォーク（共催）③	
H30年1月12日 ～23日	サテライト絵画展（那須野が原博物館エントランスホール）①	
1月25日～2月4日	小学生サテライト絵画展（那須野が原公園展示ホール）①	
3月20日	会報「なすの大地」第31号発行	



写真展の様子

◎参加者募集

①第8回小学生サテライト絵画展（平成29年9月～平成30年2月開催）

今年も博物館の対象地域内（西那須野地区、塩原の横林・接骨木^{にわとこ}地区）の小学校の5～6年生を対象にサテライトの絵画を募集いたします。

ご応募いただいた作品は県庁展望ロビー、西那須野産業文化祭会場、なすしおばらまなび博覧会会場、那須野が原博物館エントランスホール、那須野が原公園展示ホールなどで展示する予定です。（スペースの都合上、会場によっては一部作品のみの展示になります。）

ぜひこの絵画展をきっかけに、一人でも多くの方にサテライトを訪れていただき、田園空間博物館に興味をお持ちいただければ幸いです。

各会場の展示の様子

左：那須野が原公園 展示ホール

右：栃木県庁 展望ロビー



②サテライト見学会【9月7日（木）開催】

市内の主なサテライトや田園空間博物館にゆかりのある施設をバスにて巡回し、見学します。
下記のとおり、参加者を募集いたしますので、参加ご希望の方は田園空間博物館運営協議会事務局（西那須野支所産業観光建設課 電話：0287-37-5108）までお申し込みください。
なお、バスの座席には限りがありますので、定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

《募集要項》

開催日時：9月7日（木） 午前9時出発～午後4時解散予定

見学箇所：市内各サテライト及び関連施設

移動手段：各サテライト間はバスで移動します。若干徒歩による移動もあります。

対象：市民（児童を除く） 募集人数：若干名 参加費：無料

集合場所：西那須野庁舎前駐車場

参加申し込み期限：8月21日（月） ※市の広報にて、同様の募集を行っております。



那須疏水蛇尾川サイフォン出口



太夫塚神社



大山別邸

③第14回那須野が原ウォーク【11月19日（日）開催】

那須野が原公園を中心に松方別邸、那須疏水探訪の小径、赤田調整池、サンサントワーなど周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、那須野が原公園、那須野ヶ原土地改良区連合、ハウライ株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社との共催になり、毎年多くの方にご参加いただいております。

10月に市の広報等で参加者を募集する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。



松方別邸



那須疏水探訪の小径



赤田調整池

6 新設サテライトの紹介

平成29年5月25日（木）に開催された田園空間博物館運営協議会総会において、サテライトが1箇所新設されました。

「旧谷鉄工所跡のエソヒガンザクラ」

この桜木は、昭和30年頃太夫塚3丁目、旧谷鉄工所跡に自生した山桜で、現在目通り2.5m、高さ23m、幅20mの巨木で、春にはソメイヨシノより一足早く豪華絢爛に咲く様子は、近隣住民はもとより、多くの人達に親しまれています。太夫塚郷土史「太夫塚三十年の歩み」の中では、戦後の過ぎし日の桜として記述されています。平成26年10月には、太夫塚エソ彼岸桜保存会が設立されました。

場所は、太夫塚3丁目221番地（JAなすの西那須野支店の倉庫裏側）



◎特集 サテライト 西那須野駅今昔

東北本線がはじめ、私鉄であったことはご存知でしょうか。日本鉄道会社が明治14年(1881)11月11日に誕生し、当時「奥州鉄道」「奥州線」と言われました。東北本線が、明治18年10月1日に西那須野駅が開業し、お隣の黒磯駅は12月1日に開業しました。

東北本線は、当初は黒羽経由の奥州道中沿いに敷設される予定でした。これを物語る資料が大宮の鉄道博物館にあります。実は、今の国道4号も当初は奥州道中沿いに予定されました。これらは、国家プロジェクトとしての那須野が原開拓と連動したものと捉えています。開拓地は交通網の整備が不可欠だったのです。それは、インフラ整備であり、物資の輸送路としての役割でした。

西那須野駅の敷地は、後に大山農場と西郷農場に分割される加治屋開墾場の土地でしたが、まだ官有地であったため、返却という形をとったといえます。大山とは陸軍大臣の大山巖^{いわお}であり、西郷とは西郷隆盛^{たかもり}の弟である西郷従道^{つぐみち}です。ともに、鹿児島出身で明治政府を主導した人たちです。そして、共に明治初年にヨーロッパに行っています。そこで見た中に鉄道がありました。そして、駅もみえています。駅を中心に市街地が広がる姿を見ているのです。

実は、西那須野駅は開業当初は「那須」駅といわれました。明治24年に西那須野駅に改称されています。駅名が変わることは大変珍しいことだそうです。那須村の方から陳情がありました。ちなみに、那須町の「豊原」駅は、一時「下野豊原」駅になりました。明治40年に樺太に同名の駅が誕生し、また台湾にも大正9年(1920)に駅名が改称され豊原駅ができたため、大正14年に本国の駅名が代えられた経緯があります。

西那須野駅は、「塩原温泉の玄関口」といわれ、塩原温泉への温泉客でにぎわいました。駅前には川島屋と大和屋が旅館を構え、併せて塩原温泉行の旅客を運びました。最初は人力車が、その後外国製の自動車が温泉客の足となりました。そして、戦後にはボンネット型のバスが駅前に並びました。

現在の駅舎は、新幹線の高架を利用した3代目の駅舎です。開業当時の駅舎は、瓦屋根の平屋の建物で、2代目の駅舎はまだ記憶に残っている方もいらっしゃる、入口が三角屋根の駅舎でした。実は、現在のプラットホームに1885製と思われるレールがあります。これもご存知ですか。プラットホームの屋根を支える鉄の柱がレールできています。1885年というと明治18年です。日本三大疏水の一つに数えられる那須疏水の本幹水路が完成した年でもあります。レールには製造した会社名と1885の数字が読み取れそうです。会社名は摩耗し塗装してあるため、ほとんど読めませんが、何社かのレールがありそうです。今度、西那須野駅のホームに行った時には、是非見つけてみてください。

金井 忠夫（那須野が原博物館館長）



開業当初の西那須野駅
(那須野が原博物館提供)



2代目の西那須野駅
(那須野が原博物館提供)



現在の西那須野駅

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108 (那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内)

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、入手を希望される方は各公民館までお問い合わせください。